

## 平成14年度 第2回 微生物農薬検討会 議事要旨

日 時：平成14年10月31日（木）14：00～17：00

場 所：農薬検査所 仮設会議室

出 席：青木、国見、佐藤、三瀬（座長）各委員（五十音順）  
（事務局）：農薬検査所

今回の微生物農薬検討会は、前回検討したボーベリア・バシアーナ剤及びペキロマイセス・フモソロセウス剤についての指摘事項、トリコデルマ・アトロビリデ剤、シュードモナス・フルオレッセンス剤を議題として開催された。その要旨は次のとおり。

### 議題1 ボーベリア・バシアーナ剤について（前回指摘事項）

（1）ラット単回経口投与試験における試験結果を再検討し、必要ならば資料の記載を訂正することとの指摘に対し、事務局より、当該箇所を変更するとともに、評価について追加訂正する旨説明された。

各委員により検討された結果、回答が了承された。

（2）蚕に対する影響試験における人工飼料中の防腐剤等が、本菌に与える影響について確認することとの指摘に対し、事務局より、確認の結果、試験結果には大きな影響はない旨、蚕に対する使用上の注意事項を記載する旨説明された。

各委員により検討された結果、回答が了承された。

（3）標的外昆虫に対する影響試験における観察期間の有効性について確認することとの指摘に対し、事務局より、より長い観察期間を確保した試験成績の追加提出があり、検査結果を変更する旨説明された。

各委員により検討された結果、回答が了承された。

### 議題2 ペキロマイセス・フモソロセウス剤について（前回指摘事項）

（1）蚕に対する影響試験における人工飼料中の防腐剤等が、本菌に与える影響について確認することとの指摘に対し、事務局より、追加提出された防腐剤が本菌に与える影響試験の結果から、添加された防腐剤が本菌に影響を与えた可能性は低く、試験結果の信頼性を損ねない旨説明された。

各委員により検討された結果、回答が了承された。

（2）標的外昆虫に対する影響試験における感染の有無を確認することとの指摘に対し、事務局より、試験で認められた死亡原因は逃亡を防ぐ糊への付着等によるものである旨説明された。

各委員により検討された結果、回答が了承された。

### 議題3 トリコデルマ・アトロビリデ剤について

（1）本剤の作用機作が競合によるものだけか確認するよう指摘があった。

標的外昆虫に対する影響試験における試験期間について質問があり、事務局より、試験実施に関して事務連絡で対応した旨説明された。

（2）その他は、特に問題はなく評価案が了承された。

### 議題4 シュードモナス・フルオレッセンス剤について

（1）魚類に対する病原性の有無を確認するよう指摘があった。

（2）その他は、特に問題はなく評価案が了承された。

### その他

（1）微生物農薬検討会公開取扱要領について、事務局より提案され、会議資料は非公開とされた。

（2）微生物農薬の安全性評価に関する試験の適性実施について、事務局より対応状況が説明された。

次回の微生物農薬検討会は、平成15年2月26日または27日に開催されることとされた。

（照会先）検査部検査調整課 石谷、入江  
電話042（383）2151